

平成 2 3 年度
議会報告会
地区別開催概要

釧 路 市 議 会

議会報告会開催概要（阿寒地区）

開催日時	平成 23 年 10 月 6 日（木）14：00～15：30
開催場所	阿寒町公民館（視聴覚室）
参加人数	26人
出席議員	黒木 満議長 高橋一彦議員（班長・議会運営、経済建設） 森 豊議員（庶務・議会広報） 松尾和仁議員（司会・総務文教） 上口智也議員（民生福祉） 畑中優周議員（石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：阿寒病院の検討委員会に特定の医療法人の方がいて、そこから申し入れ書があったのは、民営化のための下準備が行われているかのようで問題ではないか？</p> <p>答：検討委員会に医療法人の方が含まれていることは、議会として関与するものではない。また、検討委員会の資料の中で、民間委託への条件など事細かに提出されていたことは、市長及びセンター長も不適切であったと陳謝している。</p> <p>問：議会で、阿寒病院の民営化について全然議論されていない中で、特定の法人から引き受け条件についての申し入れ書が出されたことが問題である。また、その法人の方が検討委員会の委員で、その法人の選定の話をしているのが問題ではないか。</p> <p>答：委員会の中では、特定の団体を推察するような質問はなかった。また、センター長と市長からは、検討委員会に提供された資料については大変軽率であったと陳謝があった。</p> <p>問：議会報告会の質問時間をもう少し長くしてはどうか。</p> <p>答：今回初めてなので、いろいろなご意見を聞いて検討していきたい。</p>

	<p>問：理事者が着席をし、本会議開始のベルが鳴ってから議員が入場するのはいかななものか。</p> <p>答：会議規則の中で、議員はベルが鳴ってから議場に入るように規定されている。</p> <p>問：議会のインターネット中継に関し、古い3月の分しか見れなかったがなぜか。</p> <p>答：現在、生中継と録画中継を行っており、録画は、議会終了後1週間を目途に公開している。</p>
<p>要望等の内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 阿寒病院が診療所または民間になっても、最終的に市が責任を持つのであれば決定に従うし、決定後の説明会で話を聞いていきたい。 2 阿寒病院の今後のあり方については、検討委員会の意見だけではなく、広く住民の意見を聞いて結論を出してほしい。 3 阿寒病院のあり方について、議員も検討委員会も具体的なことを調査して良い方向で検討してほしい。 4 合併して何も良いことがなかったと嘆く人が多い。 5 合併時に阿寒病院は大丈夫と言ったことに市は責任を持ってもらいたい。 6 阿寒病院の検討委員会に、ある医療法人が作為的に委員を入れているという報道や情報が流れている。議会の中で、ある特定の人物への発言や推察をしてはいけないはずで、こうした発言は、住民の混乱を招く恐れがあることを承知し、今後の議会運営に臨んでほしい。

議会報告会開催概要（音別地区）

開催日時	平成 23 年 10 月 6 日（木）14：00～15：30
開催場所	音別町コミュニティセンター（研修室）
参加人数	10人
出席議員	<p>月田光明副議長</p> <p>戸田 悟議員（班長・議会運営）</p> <p>梅津則行議員（庶務・議会広報）</p> <p>松永征明議員（司会・民生福祉）</p> <p>三木 均議員（総務文教）</p> <p>大島 毅議員（経済建設）</p> <p>続木敏博議員（石炭対策）</p>
質疑応答の内容	<p>問：音別診療所の看護体制について委員会でやりとりをしたとのことだが、その内容は？</p> <p>答：看護体制の整備に向けて関係部署と協議していきたい旨の答弁があった。</p> <p>問：議会改革に伴って反問を認めたようだが、反問の内容は？</p> <p>答：実際には6月・9月定例会では1つも発生していない。</p> <p>問：議員提出条例2件の内容は？</p> <p>答：議会基本条例と改選後常任委員会数を4 3に変えるための委員会条例である。</p> <p>問：学校施設のPFI導入に関し教育委員会はよく分かっていないようだが、今後、議会でどのようにもんでいくのか？</p> <p>答：市ではまだ何も決まっていない状況である。議会としても見切り発車することがないよう、また、十分に地元業者が参画できる枠組みのあり方、低リスクで多くの業者が参加できる工夫をするようにと委員会で述べている。今後も検討状況を見据え次回以降の議会で</p>

	<p>より突っ込んだ議論をしたい。</p> <p>問：議員3人と10人位の参加者で車座のような形式で報告会を開催できないか？</p> <p>答：今回の開催を踏まえて次回の検討をすることになっており、意見を参考にしたい。</p>
<p>要望等の内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学生のスポーツ交流（八千代市）参加に係る旅費負担の軽減を図れないか。 2 酪農家の担い手確保に向け後継者・花嫁対策に引き続き支援を願いたい。 3 シカの食害による牧草被害に関し引き続き支援を願いたい。 4 飼料や燃油の高止まりに対し支援を願いたい。 5 TPP問題に関し引き続き国に対し意見を上げていただきたい。 6 林業に関し植林事業を拡大し、資源増強を図っていただきたい。（同様に山づくりを進めていただきたい旨の要望も有） 7 議会議論に関する新聞報道では農業・林業の取り上げ方が少ないため、もっと音別に足を運んで第1次産業の実態を今以上に理解していただきたい。 8 音別での防災対策、高い所に行くための避難経路・避難場所を住民にきちっと教育すべきではないか。 9 雇用問題、果樹園を造って働く場所ができないか。 10 音別の市街地には大きな公園がないので5年・10年計画で何か考えられないか。また、議員にもぜひ音別地域の将来のことも考えていただきたい。

議会報告会開催概要（釧路西部地区）

開催日時	平成 23 年 10 月 6 日（木）19：00～20：30
開催場所	コア鳥取（学習室兼会議室）
参加人数	35人
出席議員	黒木 満議長 秋田 慎一議員（班長・議会運営） 梅津 則行議員（庶務・議会広報） 金安 潤子議員（司会・民生福祉） 山口 光信議員（総務文教） 佐藤 勝秋議員（経済建設） 草島 守之議員（石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：国際バルク戦略港湾に関する費用対効果、市費 31 億円の負担に対し効果は港湾使用料となるのか？</p> <p>答：効果は直接的に港湾使用料ということではなく、釧路が日本の中でもバルク（ばら積み）の中核港湾として機能強化されることによる波及効果が非常に大きな事業であり、経済や雇用を含めた活性化に資する目的で、これから進めていくものである。</p> <p>問：国際バルク戦略港湾が整備された後、市にどういった経済的効果があるのか？</p> <p>答：前問同様詳細はこれからであるが、港湾機能の強化に伴う波及効果は大きなものが期待されている。これを確実にするためにも今後港湾計画を具体的に詰めながら、できる限りわかりやすく情報を伝えていきたい。</p> <p>問：地元を離れて就労することによる若者流出は大きな問題であり、検討できないか？</p> <p>答：各議員、市、経済界も特に若年者の雇用については大きな問題であると認識している。今回の議会では出なかったが毎議会必ず出ているので、今後も議論を進めていきたい。</p>

	<p>問：市には津波だけではなく雌阿寒岳の噴火という災害が想定されるが、同じ市民としてその際どのような支援ができるか話し合いをしたことがあるのか？</p> <p>答：今回の議会では津波関係の議論が中心で審査には含まれていないが、今後の議会で指摘の点も議論されていくことになる。</p> <p>問：積極的に議会報告会を開催されたことは大変よかった。</p> <p>答：これからもアンケートなど意見を聞いた中で、それに沿った形で進めていきたい。</p> <p>問：市の観光について、政策や事業の内容を聞きたい。</p> <p>答：将来に向けた市の観光のあり方、様々な資源を有機的に活用して市のまちづくりに資するための計画が2年程前に出され、それに基づいて様々な取組みがされている。なかなかすぐ成果の出るものではないが、希望を持って様々なチャンネルを使いながら地道に取り組んで将来につなげることが大事であり、議会としてもそういう立場で進めていきたい。</p> <p>問：国政には与党と野党があるが、市の場合与党と野党という関係があるのか？また、あるとすれば議会の関係でスタンスの違いがあるのか？</p> <p>答：国政とは違い、地方議会に与党と野党はない。市長とは是々非々でそれぞれの考え方を進めている。</p>
<p>要望等の内容</p>	<p>1 大楽毛南地区（2町内会）の避難施設、ポリテクセンターが平成26年解体になると避難施設がまったく無くなるため、市も承知していると思うが、議員にも何らかの協力をいただきたい。</p>

議会報告会開催概要（釧路東部地区）

開催日時	平成 23 年 10 月 7 日（金）19：00～20：30
開催場所	コア大空（学習室兼会議室）
参加人数	32人
出席議員	黒木 満議長 村上和繁議員（班長・議会運営） 森 豊議員（庶務・司会・議会広報） 秋田慎一議員（総務文教） 鶴間秀典議員（経済建設、石炭対策） 菅野 猛議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：公営住宅の地震対策は、すべて実施されているか。</p> <p>答：全公営住宅の耐震化工事は、完了していない。</p> <p>問：市の教育研究センターでは、教員のレベルは上がっているといっているが、なぜ、子どもの学力は上がらないのか。</p> <p>答：教育研究センターからの報告はないが、今年から新学習要領も実施され、夏休みには補講も実施されていることから、徐々に改善されるだろうと考える。</p> <p>問：今年の事業仕分けで、教え方に問題があるという指摘があったが、把握しているか。</p> <p>答：教職員のレベルの点については具体的に把握していない。この問題は、子どもたちや学校だけの問題ではなく、地域全体として取り組まなければならない問題として認識している。</p> <p>問：フィットネスセンターの存続問題について、民生福祉常任委員会では議論はなかったのか。</p> <p>答：民生福祉常任委員会では、この施設の存続について担当している部局はないので、議論はなかった。</p> <p>問：市からの説明では、フィットネスセンターの改修に1億7千万円かかると報告があったが、専門的な見地</p>

	<p>からの見方も必要ではないか。</p> <p>答：当該施設の床・天井・ろ過機の更新費用がコンサルタントの見積もりで1億7千万円になると市から報告があった。今後、実地検分を委員会として検討したい。</p> <p>問：議員も炭鉱の体験入坑をしたり、中国・ベトナムの研修生の実態を見たり聞いたりすべきだ。</p> <p>答：前向きに検討したい。</p> <p>問：議会報告会を地区懇談会のような形でできないか。</p> <p>答：要望があったことを持ち帰って検討していきたい。</p>
<p>要望等の 内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 公営住宅の壁の補修をしてほしい。 2 現在、幣舞橋の工事を行っているが、この時期の夕焼けの撮影が一番良いので、工期の変更はできないか。 3 全国的な調査で、子どもの学力と貧困の相関関係について結果が報告されているので参考にしてほしい。 4 水道料金の滞納の相談にいったが窓口の対応が悪かった。市民をサポートするのが行政の対応ではないか。 5 町内会活動に議員も、そして職員も積極的に参加すべきだ。 6 他市に比べ、生活保護受給がしやすいと聞くが本当か。 7 釧路市の児童の水泳能力が落ちていると思うが、その観点からもフィットネスセンターは存続すべきではないか。 8 選挙時だけでなく、もう少し地域に出向いてほしい。 9 市長の気持ちを訴える意味からも市のホームページに動画を掲載すべきではないか。

議会報告会開催概要（釧路中部地区）

開催日時	平成 23 年 10 月 7 日（金）19：00～20：30
開催場所	コアかがやき（学習室兼会議室）
参加人数	35人
出席議員	<p>月田光明副議長</p> <p>酒巻勝美議員（班長・議会運営）</p> <p>梅津則行議員（庶務・議会広報）</p> <p>松橋尚文議員（司会・経済建設）</p> <p>土岐政人議員（総務文教）</p> <p>宮田 団議員（民生福祉）</p> <p>石川明美議員（石炭対策）</p>
質疑応答の内容	<p>問：今、連町が市と一緒にがんばっている加入促進の問題について、議員はどのように考えているのか？</p> <p>答：9月定例会では報告されていないが、これまでも委員会で議論されており、今後も議論していきたい。</p> <p>問：住宅用火災警報器について、市民の何%まで普及しているのか？</p> <p>答：消防によるサンプル調査の結果、概ね6割位は設置しているのではないかと、また、引き続き周知を行う中で設置率を高めていきたいという報告があった。</p> <p>問：報告会の進め方、今後は一項目ごとに意見を聞くような形で進めてもらえないか？</p> <p>答：意見を参考にして、わかりやすく進行できるように議会内で検討して対応していきたい。</p> <p>問：市議会の費用弁償の現状は？</p> <p>答：議会改革論議の中で廃止としているが、現状会議開催時の自宅から市役所までの交通費（車賃）を支給している。</p> <p>問：アイヌシアター建設費の追加で300万円程あったことを新聞紙上で見たが、なぜ今になってこのような契</p>

	<p>約変更となったのか？</p> <p>答：当初の地質調査でわからなかったが、工事を進める中でかなりの量の湧水が出たため、これを処理・排水するために必要な設計変更をしたためである。</p> <p>問：防災の件、市政懇談会でも質問したが、この地区の海拔はどの位かということが一目でわかる防災マップの作成について、どう考えるか？また、図上訓練の重要性の意識が高まってきているが、さらに意識を高めるよう議員からもアドバイスしてもらえないか？</p> <p>答：今、市ではハザードマップの見直しをしており、その中に入れられないか検討していると聞いているため、ぜひ取り入れられるよう進めていきたい。また、図上訓練については、なかなか浸透されていない実態もあるので、防災組織や消防などで実施していただき、自分の周りにどういう障害があるか知ってもらうことがまず大事であり、市民の皆さんに広めていきたい。</p> <p>問：議員のあり方について、賛否の分かれたものを見ると会派毎になっているが、本来議員個人毎に採決すべきものと思うが？</p> <p>答：基本的には採決する前に会派で話し合い、その結果で賛否表明しているのが現状である。ただし、このような意見があったことは各議員に報告したい。</p> <p>問：この地区で避難場所が十分に確保されているとは思えないが？また、安心して住めるまちづくり、危機管理を真剣に考えていただきたい。</p> <p>答：しっかりと議会の中で議論していきたい。</p>
<p>要望等の内容</p>	<p>1 住宅用火災警報装置の普及率は概ね6割ということであるが、義務化されているため100%を目標に腹を据えて進めていただきたい。</p> <p>2 今の経済情勢の中で、厳しい市の財政というものをよく考えて議員も議論してほしい。</p>